



《プルーン・すもも》

◆ 収穫前薬剤散布について ※収穫直前の品種に行く。

収穫前の降雨によっては、腐敗果の発生が増加するため、特に収穫前の防除を徹底する。

1. 散布時期・・・収穫開始2日前 実際散布日記入 月 日
2. 調 合 量・・・水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
オンリーワンフロアブル	50mℓ	灰星病	前日まで
(㊟スカウトフロアブル)	50mℓ	シンクイムシ類	前日まで

3. 散 布 量・・・10a当り⇒350ℓ
4. 留意事項
 - ①「収穫前日まで」となっている農薬は、収穫24時間前までに散布が終了する事を意味する。
 - ②シンクイムシ類の発生が心配される園は、スカウトフロアブル 2,000 倍を加用散布する。スカウトフロアブルに代えて、ディアナWDG5,000 倍(水 100ℓ当り 20g/収穫前日)を使用してもよい。

◆ 黒斑病対策の特別薬剤散布について (すもも)

越冬量削減のため、発生があった園は、2～3回の実施をする。なお、実施前に徒長枝等を整理し、薬液が枝までよく掛るようにしておく事が重要。

1. 散布時期・・・下記1回目日程より、晩生種の収穫が終了していれば、数日早めから散布してよい。収穫が終了していない品種は、終了後速やかに実施する。また、散布間隔が14日以上空かないよう注意する。
 - ①1回目⇒ 9月上中旬 《実際散布日記入 月 日》
 - ②2回目⇒ 9月下旬 《実際散布日記入 月 日》
 - ③3回目⇒ 10月上中旬 《実際散布日記入 月 日》
2. 調 合 量・・・水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
固着性展着剤アピオンE	50mℓ	—	—
IC ボルドー 4 1 2	3kg	黒斑病	—

3. 散布量・・・10a当り⇒400ℓ 以上
4. 散布上の留意事項
 - ①収穫中・収穫直前の品種に掛からないよう、実施し、特に混植園や隣接園は注意する。
なお、収穫終了後には、早急に必ず実施をする。
 - ② i c ボルドー 6 6 D 並びに 4 - 1 2 ・ 6 - 6 式ボルドー液は、登録が無いため使用できない。
 - ③アピオンE1,000 倍に代えて、K. Kステッカー3,000 倍(水 100ℓ 当り 33mℓ) を使用してもよい。なお、この場合ボルドー液を調合した後に混用する。
 - ④天候のよい日を選び、散布ムラのないよう丁寧に散布する。
 - ⑤降雨・風雨が多い場合は、散布間隔を10日程度とし実施する。

◆ 秋季剪定について

この時期の剪定は(枝が貯蔵養分を蓄える前に剪除してしまうので、切った枝が反発しない)樹を落ち着かせる効果がある。また、樹幹内部まで良く日光を当てることで、翌年の花芽の充実を図ることができる。

1. 剪定時期・・・枝が貯蔵養分を蓄える前の9月上中旬。これより早い時期に行くと、枝の二次伸長を誘発させてしまう。
2. 剪定方法・・・主枝背面等から発生している、太い徒長枝を中心に剪除する。
日焼けが心配な場合は、基部から20cm程度残す。

大枝は凍害防止のため3月に剪除する。
 秋季剪定は樹勢を落ち着かせるために行うので、樹勢の弱い樹は行わない。
 また秋季剪定ですべての剪定を行わない。

◆礼肥の施用について

施用時期	肥料名	施肥量	実際施用日記入
9月中下旬	有機専科	10a当り2袋	月 日

※樹勢に応じて増減させる。

《あんず》

◆第8・9回薬剤散布・特別薬剤散布(かいよう病対策)について

1. 散布時期…第8回: 9月上中旬 実際散布日記入 月 日
 第9回: 9月下旬 実際散布日記入 月 日
 特 別: 10月上旬 実際散布日記入 月 日
 ※2週間間隔で実施する。

2. 調 合 量…水100ℓ 当り ※混用順に記載。

農薬名	使用量	対象病害虫	収穫前
固着性展着剤アビオンE	50ml	—	—
IC ボルドー66D	2kg	黒斑病	—

3. 散 布 量…10a当り ⇒ 400ℓ

4. 留意事項

- ①健全葉を保護し、来年度の健全花芽確保のための重要防除となるので必ず防除を行う。
- ②他作物・他品目に薬液が掛からないように十分注意する。
- ③「かいよう病」「せん孔細菌病」が拡がっている。
 対策については講習会にてお知らせいたしますが、発生源となる枯れた枝や芽をボルドー液散布前に切除する。
- ④発生が心配な場合は、10月上旬にもう一度、icボルドー66Dの50倍(水100ℓ当り2kg)を特別散布する。
- ⑤付着・耐雨性向上のため、固着性展着剤アビオンEを1,000倍(水100ℓ当り100ml)で使用してもよい。

◆秋季剪定講習会・かいよう病対策について

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
9月7日	木	午前 9:30	萩原久光様園(松代城跡西)	松橋
		午前11:00	小野益一様園(東条)	松橋

◆杏加工用コンテナの回収について

杏加工用コンテナは加工業者からお借りしている物です。灰色の平コンテナがご自宅または自園に有りましたら速やかに松代総合センターに返却していただきますようお願い致します。コンテナの回収が進まないようでしたら、今後杏の加工取引が無くなる可能性があります。皆様のご協力をお願い致します。

《なし》

◆豊水荷受について

1. 集荷日時・・・9月6日(水)から。日時は、出荷予定の各流通センター・共選所にて、受領下さい。
2. 集荷場所・・・各流通センター・共選所
3. 出荷方法
 - ①コンテナは、篠ノ井のりんご用コンテナを使用する。コンテナ（ノバエースも併せて）の貸出準備を致しますので、必要数量を事前に各流通センター、共選所まで申し込む。
 - ②東部流通センターにて一元集荷・選果します。箱の中でぐらつかないように工夫して詰める。
 - ③コンテナの下と中間にクッション材（ノバエース）を敷く。
 - ④コンテナ毎に、支所・組合員コード・氏名を記入した、個票を入れる。
※ノバは切ったり、必要以上に使用しないで下さい。また、他へ流用しないで下さい。
 - ⑤玉の大きさは大小あっても良い。なお、極小すぎないこと。
4. 収穫・出荷基準
 - ①収穫始めは満開145日（今年の熟期は遅れている）、糖度12度以上を目安とする。
 - ②収穫目安となる果皮色はカラーチャートで2.5～3とする。
 - ③2回に分けて樹の上・外側・短果枝から収穫する。
 - ④基準のなし規格表は各集荷場所にあります
 - ⑤果柄(ほぞ)は短く切り、下向きに詰める。

◆南水の収穫及び出荷目揃い会の開催について

下記により適期収穫講習会を開催しますので出荷予定者は必ず参集下さい。

開催日	曜	開催時間	開催場所	担当
9月11日	月	午前10時30分	真島フルーツセンター 2階会議室 駐車場所: 荷受場所や冷蔵庫前は不可	外谷
		午後2時00分	篠ノ井東部流通センター2階会議室	外谷

- ①3kgオープン箱（ももと同じ箱）詰め出荷について、講習会にてお知らせ致します。
- ②熟度調査を行います。収穫適期と思われるものを1個ずつ持参ください。
- ③当日、集荷計画表を配布します。
- ④収穫が早まる場合は、各共選所・流通センターまで連絡をして下さい。
- ⑤加工の荷受けは例年通り実施致します。講習会で詳細をお知らせ致します。

◆南水品評会について

南水の品評会は9月の中旬を予定していましたが春先の凍霜害の影響による着果不足、また果実品質を考慮し、なし専門部役員会にて令和5年度は実施しないこととなりました。

◆なし贈答用ダンボール(5kg)配布について

8月25日(金)までに注文いただいた分を配布します。各流通センター・共選所より、連絡致します。

◆特産果樹部会の苗木助成について

本年度、特産果樹部会にて部会員を対象に苗木の購入助成を予定しております。

対象品目・品種は、下記内容によります。

助成金額につきましては、全体の本数が確定して役員会にて決定になります。

1) 予定助成対象品種 ※助成対象品種が変更になる場合がございますのでご了承下さい。

プルーン	アーリーリバー	サンタス	トレジディ	サマーキュート
	くらしま早生	くらしま	スタンレイ	オータムキュート
すもも	大石早生	紅りょうぜん	貴陽	
オウトウ	佐藤錦	紅秀峰		
梨	南水	南農6号		
梅	豊後			
杏	山形三号	信山丸	信州大実	
	ハーコット	おひさまコット		

※プルーン:トレジディはくらしまの受粉と相性が良い。

2) 対象期間

①令和5年度果樹秋苗取りまとめによる、令和6年1月の通常購買品取引となるもの。

《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（情報担当・篠ノ井東部）：080-8048-6602

松橋（松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866

根津（更北）080-1203-8576／松澤（若穂）080-1191-5166

吉澤（全域・編集担当）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

※センター繁忙期になるため、電話をとれない場合がありますが、ご了承下さい。

伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816／松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311